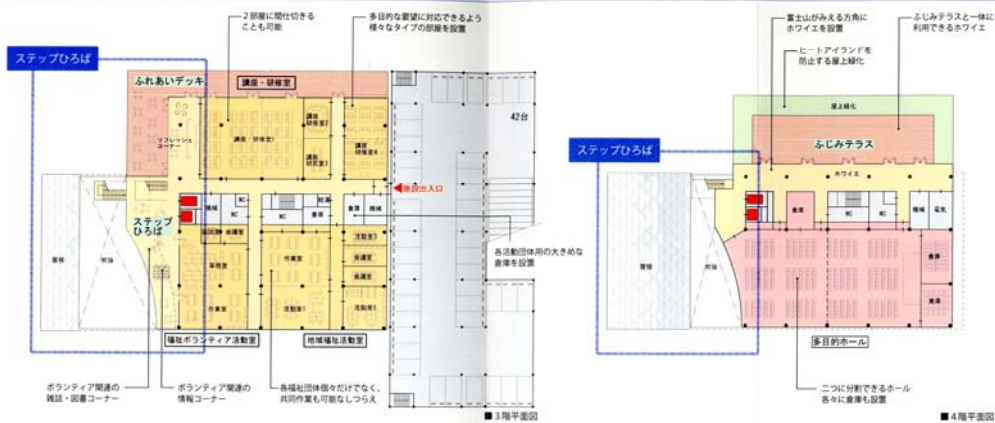


(G 提案)



構案2
緑化提案書 2-4

Fig. G



2) 動物の有効活用とコスト (イニシャル・ランニング) 軽減に対する考え方

- 夜間電力によるランニングコスト低減**
 - ・安価な夜間電力による水蓄熱ヒートキープ空調機を採用します。昼間の最大食料時に、その冷気を取り出して利用することで、エネルギーの平準化を図ります。
 - ・クールチューブを採用し、冷暖負荷を軽減します。
- 大屋根の吹抜を利用した省エネルギー化**
 - ・夏季や中間期には、吹抜部分の煙突効果を利用して自然換気を行います。吹抜上部に発生する熱溜りの熱を建物頂部から自然に排出し、冬季には、温室効果によって暖められた吹抜上部に溜まった熱をジェット・ノズルによって吹き下ろし、室内全体を快適な環境に保ちます。
 - ・吹抜空間は、居住域のみを空調する方式とし、冷暖負荷を最小限とします。

- 雨水や太陽光の積極的利用**
 - ・雨水を貯留して中水とし、便所洗浄水に利用します。夏季・中間期には、屋根面に敷水し、水が蒸発する際に熱を奪う作用を利用して、屋根の熱負荷を低減します。
 - ・大屋根には、透光性のある太陽電池(セルを部分的に用い、太陽光エネルギーを適用しつつ、室内に自然光をもたらします。
- 合理的な構造でイニシャルコストを低減**
 - ・地下層を設けず、経済スパンで計画します。
 - ・軽集積材は別棟として、別途で計画します。
 - ・既製品やユニット製品を積極的に利用します。
- 長く長持ちする施設づくり**
 - ・耐久性、耐傷性に優れた素材を用い、汚れにくく、メンテナンスもしやすい計画とします。

